



@幸せな贈り物

あなたが あなたを 殺している！ *You are killing yourself!*

習慣の逆襲 1 80歳の年齢であっても、韓国で代表的な精神科医師であり、脳科学者として活動中であるイ・シヒョン博士。彼は、病院ごとにあふれ出るガン、糖尿病、高血圧など、いわゆる「生活習慣病」の患者を見ながら、人間に向かった習慣の逆襲が始まったと話しました。無意識の内に人間の便利さを追求する一日一日の生活が、未来の人間のからだを病気にさせているということです。彼は行き過ぎた情熱の生活を送った若い時期「あなたはあなたを殺している」You are killing yourselfという同僚の忠告を思い出しながら、40代以後は健康のための人生のターニングポイントが必要だと力説します。

それとともに「栄養、休息、運動」の3拍子がバランスを取って調和を作り出して、小食多動が習慣化するとき、健康な生活を楽しめると話します。

アメリカの病気統計センターが明らかにした疾患別の死亡原因を見れば、誤った生活習慣が50%、生活環境が25%、遺伝的・体質的要因は20%にもならないと明らかにしながら、健康長寿の80%以上は、本人の管理責任だと明らかにしました。

<習慣の力>という本で有名なジャックD. ホッジが言うのに「すべての成功した人々の共通分母は、良い習慣で日常生活をしているという点」と言いました。

彼は習慣の重要性をこのように表現しました。

「私はあなたの永遠なパートナーだ。私はあなたに最も大きい力になったり、最も重い荷物になったりもする。私はあなたを前進するようにさせたり、あなたを引っぱって失敗するようにさせたりもする。私は全面的にあなたの命令を受ける。あなたがすることの半分程度は私を越えて行き、私はそのすべてのことを迅速で正確に片づけられる。私を統制することはとてもやさしい。しかし、断固としていなければならない。どんなことをどのようにしたいと正確に見せさえすれば、何回かの試みのあとで自動的にそのことを処理する。私は偉大な人をより一層偉大にさせる。失敗者はより一層失敗するようにさせる。私を通して利益を得る事もでき、破壊されることもできる。私をつかんで飼い慣らして、訓練させて、断固として統制すれば、私はあなたの足もとにこの世を捧げるだろう。私とともに楽に生きよ。そうでなければ、私があなたを破壊するだろう。私はだれなのか。私は習慣だ」

健康であっても、成功であっても、結局は、普段の時の生活習慣がこのように重要なのですが、私を生かして、他の人を生かして、まことの幸せをもたらすたましいの習慣については、どうなのでしょう。

人間を最も人間になるようにする習慣の逆襲、その二つ目の話…

習慣の逆襲 2 聖書が語る永遠な幸せの習慣があります。

「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。」(Ⅲヨハネ 1:2)

本来の人間には「不幸」という単語はありませんでした。そして、その不幸は人間自ら作り出したのでも、望んだものでもありませんでした。

魚が水の中に、木は根を地中におろすとき、いのちと幸せがあるように、本来の人間は神様とともにいるときに、まことの幸せと祝福を味わうように創造されました。

ところが、人間は霊的な暗やみの存在であるサタン(悪魔)の誘惑を受けて、神様との約束を破って神様を離れるようになりました。結局、神様を離れるようになった人間は、サタン(悪魔)の奴隷になって、その結果、人間には呪いと災いと苦しみと死がやってきて、運命と生年月日による運勢に縛られて生きるようになりました。これを聖書は人間の根本問題、原罪だと語っています。

いくら名誉があつて、財産が多くて、成功をしても、いのちを失えばなんの役にもたないように、神様を離れた人間に快樂はあつても、まことの幸せはないと聖書は言います。

「人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありましょう。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。」(マタイ 16:26)

幸せな人間の生活のためには、いのちとたましいが最も重要だということです。

どうして理解できない霊的な問題が繰り返して、その問題を解決してみようと迷信、偶像にはまり、占い、お祓い、善行をしてみるのですが幸せはなくて、引越しの日、方角、お墓の位置も思いどおりにできない不幸な生活を送っていませんか。理由のない不安、空虚感、むなしさ、精神病、ノイローゼ、うつ病、不眠症など、背景も良くて、知識も多くて、お金もたくさんあるのに、しきりにさまよって、自分でもわからない苦痛で苦しむ生活を送っていませんか。各種の病気、不治の病、悪夢に苦しめられて、金縛りにあつて、病名もなく苦しみながら、生活の中でくり返す失敗と葛藤を経験していませんか。未来に対する不安はさらに深刻化して、この苦しみがまた再び子どもに相続される苦しみを味わっていませんか。

それで、神様は人間の問題を解決してくださるために、はじめから私たちに福音(イエス・キリスト)を送って下さいました。イエスは「救い主」(名前)、キリストは「油を注がれた者」(職分)という意味です。

イエス・キリストは、神様を離れたすべての人間が神様に会える唯一の道になられた、まことの預言者です。

イエス・キリストは、十字架で私たちの罪の代わりに死なれることによって、私たちのすべての罪を解決して、呪いと災いから解放して下さった、まことの祭司です。

イエス・キリストは、聖書の預言のとおり十字架で死んで三日後に復活され、今でも人間を困らせて地獄に引っ張っていくサタン(悪魔)のすべての権威を完全に滅ぼされた、まことの王です。

それで、聖書はイエス様を「キリスト」と言っています。

言い換えれば、人間が絶対に解決できない根本問題を完全に解決された方ということです。

イエス様をキリストと信じて、私の心に受け入れるとき、はじめて私の運命と運勢を変えるたましいの逆襲が始まります。

このとき、神様の霊である聖霊様が私の中に入って来られ、神様の子どもの身分を得るようになり、本来の人間が味わった祝福と権威を回復するようになるのです。

私のたましいと人生の幸せを変える習慣の逆襲、それがまさに「信仰」です。

神様の願いはあなたの幸せです。それほど、あなたは大切な人です。

聖礼典 — 聖餐と洗礼の意味

世の中には、多くの宗教があります。そして、福音をあかしするキリスト教があります。それなら、多くの宗教とキリスト教の差は何でしょうか。

宗教は人生に起きる数多くの問題に対する数多くの答えを提示してくれます。それで、地球上には宗教も必要なのです。ところが、福音は「数多くの人間の問題に唯一のひとつの解答」を提示してくれます。なぜなら、その数多くの問題が一つの原因から出発したためです。その一つの原因は、人間ではとうてい解決できない根本的な問題を言われます。人間が神様を離れた問題（原罪）、その中にかくされた罪とサタンの問題を言います。そこに対する唯一の解決策を提示するのが福音で、キリスト教です。そして、宗教は、この世を生きていく人間により良いことを語ってくれますが、福音は人間に最も良いことを言ってくれるのです。人間に最も良いこととは何でしょうか。こういうことばを知っていますか。「財産を失うのは少し失うことで、名誉を失うのはたくさん失うことで、健康を失うのはすべてのことを失うのだ」言い換えれば、いのちが最も重要だということばです。人間に最も重要な根本問題、それを解決する最も良い方法、唯一の方法を知らせるのがまさに福音で、キリスト教の本質です。

そして、福音を通して救われた神様の子どもたちの祝福を確認させる儀式がまさに聖礼典です。

しかし、聖礼典自体が救いに達する方法ではありません。キリスト教で聖礼典は救いを記念して、その祝福を確認させてくれる儀式です。そのような聖礼典には洗礼と聖餐があります。聖礼典は、神様が私たちにくださった救いの祝福がどれくらい大きいことかを知覚させる表示です。

洗礼は、神様の子どもという事実に対して印を押されること（確証）の意味を記念することです。そして、聖餐はその印を押されるのが救われた私に適用されることを言います。この事実を悟った伝道者パウロは「私はキリストひとりで満足する」と言いました。アメリカの有名な伝道者ムーディーは、「私は講壇でイエスの他には話さない」と言いました。賛美作家ファニー・クロスビーは「私は目が開かれぬのがより良い。キリストを分かるから…」と言いました。〈死ななければならないなら死にます〉の著者であるアン・イスク女史は「私は火の中にも行ける。私は水の中にも行ける。そこにも神様がおられるから…私は死んでも大丈夫だ。神様が私とともにおられるから…」こういう明らかな人生の解答を持って勝利しました。

「イエス・キリストはすべての問題の解決者です！」それで、キリストひとりで終わりです。これが福音の力で、神様の子どもたちの祝福です。

私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。ローマ 1:16~17

神様の子どもになる

受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入れて来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子ども

毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



JOYFUL CHRISTMAS

いくら努力しても、変わらない生活の苦しみが重荷になって、悲しみで一日一日を生きる人々がいる。多くの人が、良く暮らすためにがんばって、良く暮らせる可能性がある道を探してみるが、現実の壁はあまりにも高い。どうすることもできないという思いで、極端な考えに留まるけれども、人生はそういうに生きるように造られた存在ではない。神様は世の中を美しく創造されて愛しておられる。それで、宇宙世界は美しく、人間をその中で最も尊く、幸いな存在として世の中に置かれた。なぜなら、そのように美しい世の中を治める者であるためだ。神様とともに最高の栄光、最高の価値を味わいながら楽しむこと、それがまさに人間だった。しかし、ある一瞬、最高に感謝して飽き足りない人間に、嘘つきのサタンが迫ってきて、最高に造ってくださった神様を越える誘惑を与え、その中に陥って人間は罪を犯した。ただ一回の失敗だったが、それは原罪になって、永遠な失敗になった。本来の人間の価値をなくした罪人は、もう最高の歌をなくして、サタンが提供する偽りの歌、破壊する歌、自分を倒す苦しい歌をぎゃあぎゃあ歌いながら歳月を浪費するようになった。しかし、神様の愛は人間回復として現れた。生きなくてはいけない人間なので、生かす方法に従って、人間の世の中に神様はご自身を表わされた。神様が人間の姿で来られなければならないのでマリヤのからだを通して、どこかに来なければならないのでパレスチナのユダヤの地に、時間の中に現れなければならないのでクリスマスのその日に来られたのだ。

キリスト・イエスが来られたこと。その存在の事実に証しで、この地に数多くの教会がおかれ、いのちの聲が今日も鳴り響いている。個人の信仰が国家と全世界に反響を起こす文化に位置して、世界の人がこの日をながめる楽しみが回復した。しかし、肉体的な楽しみが喜びでなく、キリストの誕生が持つ

霊的価値を見つけ出して、自分化させてこそ、まことの楽しみが回復する。だれかの苦しみの代わりにする者がいるならば、どれくらい良いだろうか。子どもの苦しみを代わりに受ける親のように、キリストは人生すべての問題をみな担われた。それで、キリストが来られたのは、楽しい日なのだ。

ある教会にリバイバル集會があったが、時間が終わっていた。救いを願うひとりの青年がその知らせを遅く聞いて教会に行き、自分が救われることを望むが、何をすれば良いかと尋ねた。そのとき、集會の講師はとても遅かったと話した。礼拝時間に遅れたことか、そうでなければ、救われるのに遅かったのかを尋ねたとき、講師は礼拝時間も遅れたが、救いのためにあなたがすることも無いということだった。救いはすでにイエスが十字架ですべて解決したので、何もすることがなくて、ただその事実だけ信じれば良いと言った。それがまさにクリスマスだ。クリスマスは、キリストを礼拝するということばであるが、キリストは人生のすべての問題の解決者としてこの地に来られたので、その方が来られたから、私たちは楽しい価値を味わうということだ。神様は私たちに仕事をさせられる方ではない。神様は神様を喜ぶ者を探しておられる。あなたは、だれとともにいるとき楽しいのか。苦しみを与えるサタンの歌と、ふらふらすることに酔っているならば、あなたは避けられない苦しみの毎日を生きる方であろう。しかし、天使と一緒に歌うクリスマスの夜のように、神様を単純に信じる信仰でクリスマスをむかえたら、星が光る楽しいクリスマスはまさにあなたのものだ。

チョン・ヒョングク (福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ